

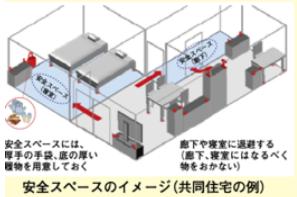
いえ
家にいるときに、
おお じしん お
大きな地震が起きたら?
「あ・し・た・に・じ」?



地震が起きてても

こ ぼうさい
子どもの防災マニュアル

あ 安全スペースへ避難



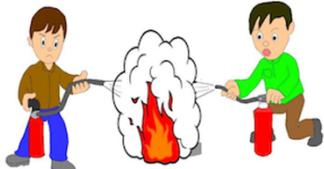
○家具を固定、整理して、部屋の中に、「物が倒れてこない、動いてこない、落ちてこない、」安全スペースを作つておく。できれば家全体を安全スペースに。
(家具などを固定していない部屋では、「テーブルの下」が安全とは限らない。)

○物がない「ろうか」などは安全スペースであることも。

○地震を感じたら、緊急地震速報を聞いたら、安全スペースに避難する「家庭内避難訓練」をしましょう。



し しょきしょうか
初期消火



○「ひ・け・し」(避難・消す・知らせる)の原則を家族や自治会などで訓練。

○地震で家が破損、家具が倒れ、部屋が散乱していたら、電気器具のプラグを抜く。通電すると火災の可能性。ブレーカーを落とす。(避難するなら必ず。)

○消火活動も、「火が目の高さ」になつたら部屋から脱出、避難。

○自治会などで、スタンドパイプを配備。訓練をみんなで体験。

○ガスの火は、震度5相当で自動的に消える。台所にいたらまず離れる。

た たす あ
助け合い



○となり近所(近隣)自治会、マンションなどで安否確認。(訓練に参加を)

○震災直後の「安否の杏」(家が倒壊、閉じ込め、家具の下敷き、負傷、クラッシュ症候群、火災、)に対応する安否確認訓練を。

○「バール、のこぎり、ジャッキ」は命を救う「三種の神器」。

○市民トリアージで負傷の程度に応じた最善の対処。

○みんなで応急手当、搬送(担架、車椅子)訓練を。

○軽症者、中等症以上の搬送先を確認し、搬送想定訓練(家族が怪我をしたら?)。

○二時間以上体が挟まれていたら、透析ができる病院に。「クラッシュ症候群の疑いあり」と伝える。



に にげる



【津波】津波の来るところにいたら、高台・高いビルなど避難場所に避難。

【火災】火災延焼が想定される地区では、広域避難場所(火災から身を守る広い場所)への避難ルート確認を。家の周辺が火災から安全なら動かない。

火災延焼が想定される地区で、広域避難場所が遠い場合には、広い道路、川、鉄道、ビルの壁などの火災が渡れない場所を探しておき、避難する想定を。

【自宅に住めなくなったら】次の地震に耐えられないほど家が破損したら、避難所(学校など地域防災拠点)に避難。避難所ルールを守り、協力して避難生活。

じ じたくひなん いちばん
自宅避難が一番



家が無事なら、自宅避難生活が一番。次の「た・か・の・す」の備えが必要。

【耐震性】1981年以前の建物は耐震診断・耐震工事。(補助制度あり)

新耐震基準の建物は、壁が少なく、バランスが悪ければ耐震診断を。

【家具固定】背の高い家具は固定。食器棚は地震対策品に。

家具固定は、「ポール式」+「ストッパー式」併用が効果的。

【飲み物・食べ物】「防災用非常食」もよいが、日頃飲んでいるもの、食べているものを多めに備蓄。(災害後は店に品がなくなり、当分入らない。)

【ストック】10日は生活できるほど多めに備蓄し、古いものから使っていく「ローリング・ストック」(循環備蓄)がおすすめ。

「防災塾・だるま」 子どもと家庭の防災マニュアル（火災編）

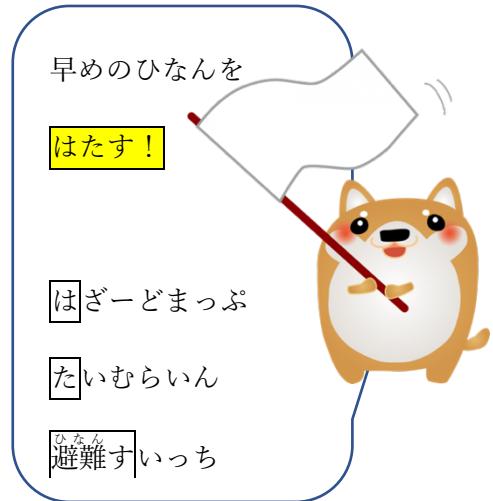
子どもの防災マニュアル	保護者の皆様への説明
<p>火事のときにはすぐやる3つ</p> <p>ひなん 避難</p> <p>けす 初期消火</p> <p>しらせん 通報</p>  <p>火事だー</p>	<p>【ひなん】避難</p> <p>○とくに煙を吸わないように部屋の外に出る。</p> <p>○煙が来たら、床に近いところの空気を吸って脱出。</p> <p>○初期消火も、「炎が目の高さ」になれば避難。</p> <p>部屋の空気の温度高くなり、煙が危険。爆発的に燃える「フラッシュオーバー」になる危険も。</p> <p>【けす】初期消火</p> <p>○消火器は、だれでもすぐに使える場所に。</p> <p>○まず、「火事だ！」と家族、近所に知らせ、水や消火器で初期消火。「消火器の黄色いピンを抜く→ホースをしっかり持ち、火に向ける。黒いレバーをにぎる。」練習を。</p> <p>【しらせん】通報</p> <p>○近所に「火事だ！」と知らせれば、消防の応援や119番通報してもらえる。</p> <p>○119番、または携帯電話の「緊急SOS機能」(例:iPhoneなら電源ボタンを5回)を練習。</p> <p>○119番通報して、「火事ですか？救急ですか？」と聞かれたたら、「火事です。」「住所はどこですか？」と聞かれたら、住所や目印になる建物を言える練習を。</p>

子どもの防災マニュアル	保護者の皆様への説明
<p>に ほうこう ひなん</p> <p>二方向避難</p> <p>ぼうか とびら</p> <p>防火シャッター・扉</p> <p>し</p> <p>死ぬことがあるけむり</p>  	<p>【にほうこうひなん】二方向避難</p> <p>○法律により、多くの建物は、どの場所からも二方向以上に「非常口」。</p> <p>○マンションも、ドア・バルコニー・避難はしごなどあり。</p> <p>○火災の場所や、煙によって、安全な方に避難。</p> <p>【ぼうかしやつたー・とびら】防火シャッター・扉</p> <p>○防火シャッター・扉は、近くの「煙センサー」で閉まる。</p> <p>○手で閉めることもでき、煙が来ない「防火区画」になる。</p> <p>○車椅子など階段での垂直避難がむずかしければ、防火シャッター・扉を閉めて、水平避難をすることも。</p> <p>○防火シャッターは、閉まっても、わきにドアがある。</p> <p>○防火扉は火災で閉まっていても、押すか、引けば開く。</p> <p>【しぬことがあるけむり】死ぬことがある煙</p> <p>○火災の煙は「毒ガス」(一酸化炭素)。吸えば、意識を失い、死ぬことも。</p> <p>○煙を吸わないで脱出。吸うなら、床に近いところの空気を。</p> <p>○家庭用火災報知器は法律の義務。寝ているときにも煙を感じて知らせてくれる。</p>

子どもと家庭の防災マニュアル（風水害編・緑区版）

ふうすいがい ぼうさいちしき
風水害への防災知識ポイントこうずいしんすいそうでいくいき
ハザードマップで家が「洪水浸水想定区域」にあつたらはや ひなん
早めの避難を

は・た・す



防災知識ポイント	こ ぼうさい 子どもの防災マニュアル	ほ ご し ゃ み な さ ま せ つ め 保 護 者 の 皆 様 へ の 説 明
はざーどまっぷ	こうずいのきけんと「ひなんばしょ」は、 ハザードマップでたしかめる。 インターネットもしらべることができます。	いえ しょくば 家や職場にどのような災害リスクが想定 されているかは、ネットからも「洪水ハザ ードマップ」や、国土交通省「重ねるハザ ードマップ」などで知ることができます。 しんすいそうで ひなんばしょ ひなんじょうほうにゅうしゅほう 浸水想定、避難場所、避難情報入手法を かくにん 確認しましょう。
たいむらいん	マイ・タイムラインをつくり、どの「けいかいレベル」からどこにひなんするかきめておきましょう。	じたく 自宅の場所、家族構成によって災害リス ク、避難場所は異なるので、家庭や自分 の時系列の行動計画「マイ・タイムライ ン」を作成。わが家はどの警戒レベルで、 どこへ避難開始するかを決めておきまし ょう。
ひなんすいっち	みんなのひなんさせるために、まず自分からひなんスイッチを入れる。 あなたの「ひなん」と「こえがけ」がにげないでいる人の 「ひなんスイッチ」を入れることもあります。	そせんひなんしゃ 「率先避難者たれ。」の教訓もあり、あなた が避難を開始することが、他の人の ひなんこうどう い 避難行動のスイッチを入れることも。

○「タイムライン」は、国の「防災基本計画で」行政・関連機関が連携する事前行動計画。

○自治会・学区・マンションなどで「地区タイムラインをつくることを目指しましょう。」

マニュアル作成「防災塾・だるま」 原案:塾長 鷺山龍太郎 イラスト:片山 晋

引用:緑区洪水ハザードマップ 横浜市マイ・タイムライン作成シート イラスト:片山晋 kaoririnn (旗振り犬)